

山梨県の環境放射線計測

2011. 7. 24~8. 27

計測団体 みどり・山梨

計測器 ミスターガンマA2700 (シンチレーション)

環境放射線 (γ線) を計測 単位 μSv/h 1m&地表面 3~5分間計測の最小値と最大値

計測地 山梨県全域

計測地の特性 市街地 (公園など) 農地 (田・畑) 山地・川

計測地・月日・		計測地・月日	
甲府市・甲府駅南口 (信玄公像) (8.20) (con 1 m) (植え込み表面) (100m 先の駐車場・con1m)	0.081~0.092	甲州市・於曾公園(8.13) (con1m)	0.048~0.055
	0.101~0.116	(土 1m)	0.061~0.073
	0.044~0.049	(流水路表面)	0.087~0.100
甲府市・荒川河川敷公園(8.20) (草・1 m、表面)	0.038~0.048	甲州市・勝沼中央公園(8.13) (植え込みに囲まれた駐車場 con 1 m)	0.062~0.070
甲府市・緑ヶ丘スポーツ公園(8.20) (駐車場 con 1 m) (砂 1 m) (すべり台足元・砂表面)	0.047~0.061	(土 1 m)	0.048~0.051
	0.059~0.071	(下水溝表面)	0.079~0.088
	0.079~0.086	甲州市・市役所庁舎入り口(8.13) (con 1 m)	0.090~0.096
甲府市・中小川原 農地(7.24) 田 A (表面) 田 B (表面) 引水路・水溜痕 (表面) 畑 (表面) 建物・庭 (土 1 m)	0.051~0.055	笛吹市・金川の森(8.13) (con 1 m)	0.038~0.043
	0.059~0.066	(土 1 m)	0.046~0.048
	0.078~0.083	(金川河原・地面)	0.044~0.051
	0.063~0.069	笛吹市・芦川(8.15) 上芦川・諏訪神社 (土 1 m)	0.042~0.044
	0.044~0.060	中芦川・河原 (砂土表面)	0.042~0.053
甲府市・小曲 農地(8.25/雨) 田 A (1m) (畦道・表面) 田 B (1m) (畦道・表面) 畑 (表面) 建物・庭 (土 1m) (土表面) 雨樋下排水管 (表面)	0.036~0.039	建物・庭 (土 1 m)	0.026~0.032
	0.040~0.045	(土表面)	0.036~0.041
	0.032~0.048	下芦川・田畑 (土 1m)	0.020~0.023
	0.042~0.051	(土表面)	0.024~0.029
	0.056~0.068	山梨市・万力公園(8.25) (土 1 m)	0.037~0.044
	0.046~0.057	(土表面)	0.042~0.053
	0.063~0.072	中央市・若宮中央公園付近(8.20) (砂利 1m)	0.035~0.045
	0.073~0.084	(土表面)	0.060~0.064
	0.054~0.059	甲斐市・赤坂台総合公園(8.12) (芝 1 m)	0.046~0.054
	0.073~0.079	(芝表面)	0.064~0.067
0.104~0.110	南アルプス市・御勅使南公園 (8.12) (植え込みに囲まれた con 1 m)	0.079~0.087	
0.057~0.064			

大月市・市街(8.18)	(駐車場 con1m)	0.039~0.042	雲取山・後山川林道中間点 (8.17)	
	(駐車場 con 表面)	0.059~0.069	(森林 1 m)	0.096~0.108
桂川(8.18)	(河原 1 m)	0.038~0.044	(土表面)	0.107~0.129
	(河原表面)	0.046~0.052	(枯枝表面)	0.131~0.134
都留市・仲町大神社(8.6)	(土 1 m、表面)	0.036~0.040	(泥土表面)	0.137~0.151
谷村町城南公園 (8.6)	(土 1 m)	0.048~0.058	国道 4 1 1 号線 (青梅街道・8.25)	
	(土表面)	0.058~0.064	甲州市・裂石	(森林 1 m)
上野原市・市役所(8.17)			(駐車場 con1m)	0.039~0.048
	(駐車場 con1m)	0.051~0.054	柳沢峠	(森林・駐車場 con1m)
	(駐車場植込み表面)	0.052~0.060		(道路脇・側溝表面)
国道 20 号線・笹子トンネル付近(8.6)				(登山道・土表面)
道の駅大和	(con1m、表面)	0.056~0.063	国道 1 4 0 号線(雁坂道・8.25)	
大月側出口	(con1m)	0.050~0.074	西沢溪谷入口 (駐車場・砂 1m、表面)	0.041~0.062
	(草表面)	0.076~0.084	県道葦崎～昇仙峡線(8.21)	
国道 139 号線(8.18)			茅が岳登山口	(土 1m)
大月～松姫峠 A	(森林 1m)	0.061~0.066	金桜神社	(土 1 m)
	(砂土表面)	0.078~0.081		(植え込み表面)
大月～松姫峠 B	(森林 1 m)	0.077~0.091	荒川ダム	(con1m)
	(土表面)	0.097~0.114	荒川ダム上流	(林道わき con1m)
大月～松姫峠 C	(森林 1m)	0.088~0.099	上黒平	(土 1m)
	(ガード下表面)	0.111~0.134		(建物・側溝表面)
松姫峠	(森林 1 m)	0.101~0.109	道志村・国道 4 1 3 号線(8.19 雨)	
	(土表面)	0.134~0.152	道志村～山伏峠 A	(con 1 m)
県道 1 8 号上野原丹波山線(8.17)				(土表面)
上野原～西原 A	(森林 1 m)	0.062~0.078	道志村～山伏峠 B	(土 1 m、表面)
	(土表面)	0.084~0.101	道志村～山伏峠 C	(土 1m、表面)
上野原～西原 B	(森林 1m)	0.086~0.098	道志川(道の駅付近)	
	(土表面)	0.105~0.123		(河原・砂土 1 m、表面)
西原地区・鶴川河原	(河原 1m)	0.089~0.098	山伏峠・山中湖側出口	(森林・土 1 m)
	(草土表面)	0.107~0.119	山中湖村・平野(8.19 雨)	
小菅村(8.17)	村内 A	(畑 1 m)	湖畔 A	(con1m)
		(畑表面)	湖畔 B	(土表面)
	村内 B	(土 1 m)		(湖畔・ゴミ焼却跡表面)
		(土表面)	富士河口湖町(8.27)	
丹波山村(8.18)	村内 A	(土 1 m)	大石公園	(砂土 1m)
		(土表面)		(砂土表面)
	村内 B	(con 1 m)	鳴沢付近	(森林・1 m)
			河口湖湖畔	(砂土 1 m)

身延町 中富和紙の里・駐車場(8.26) (con1m)	0.052~0.066	韮崎市・農地(穂坂・岩根 8.26) 田(岩根) (1m)	0.027~0.040
身延~本栖みち(8.27) 下部・リバーサイドパーク (con1m)	0.044~0.052	畦道(表面)	0.036~0.038
(土表面)	0.065~0.072	引水路入口	0.047~0.058
下部・農村文化公園 (駐車場 con1m)	0.062~0.065	畑(穂坂) (1m)	0.042~0.048
中の倉トンネル出口・本栖湖高台		(表面)	0.046~0.055
(駐車場 con1m)	0.055~0.063	建物・庭 (土1m)	0.035~0.050
本栖湖湖畔 (砂1m)	0.023~0.034	(土表面)	0.049~0.058
		雨樋下(土表面)	0.060~0.085
		集落内・側溝 (表面)	0.067~0.078
早川町(南アルプス公園線・8.26) スポーツ広場付近 (con1m)	0.048~0.053	北杜市・長坂市街(8.14) (駐車場 con1m)	0.038~0.044
野鳥公園・駐車場 (土1m)	0.060~0.067	(土表面)	0.066~0.073
(土表面)	0.066~0.075	北杜市・オオムラサキ自然公園(8.14)	
奈良田・早川河原 (砂1m)	0.064~0.081	(植え込みに囲まれた駐車場 con1m)	0.056~0.082
(砂表面)	0.100~0.113	(園内土1m、表面)	0.047~0.065
韮崎市(8.12) 釜無川・河川緑地公園 (con1m)	0.048~0.058	北杜市・大滝湧水公園(8.14) (植え込みに囲まれた駐車場 con1m)	0.051~0.074
公園下・河原 (砂土1m)	0.074~0.076	(土1m、表面)	0.052~0.061
(砂土・地表面)	0.101~0.109	北杜市・午頭島公園(釜無川穴山橋 8.14)	
韮崎市・市街(8.20)		(土1m)	0.068~0.076
(駐車場 con1m)	0.030~0.038	(土表面)	0.076~0.089

◆山梨県の過去の平常値は甲府(地上17.3m)で0.040~0.064(山梨県庁、文科省のHPより)

◆表中のconはコンクリート、アスファルト上の計測

◆山間部の計測はおおむね道路に沿って川の下流から上流に向かって進め、表中で順にA、B、Cと記す

<コメント>

不慣れな計測で、数値がなかなか安定しない地点もあったが、甲府盆地の地上1mの空間線量は概ね3.11以前の平常値にあるようで、一安心。とはいえ、計測の結果、放射性物質の降下についていくつかのことが指摘できる。ひとつはすでに東日本の各地で観測されていることだが、放射性物質が集まるところ、たとえば雨樋の下や公園の植え込み、側溝などでは平常値の2倍あるいはそれ以上の数値が計測され、このような局所的な場所は県全域で見られたことである。ただしそれは、先日の神奈川県川崎市多摩区の公園で計測された1.7 μ Sv/h(1万6千500Bq/kg)のような高線量スポットではない。二つ目は、甲府盆地や郡内の平地に比して山間部、とくに奥多摩方面の放射線量が高く計測されたことである。今回の計測では県内の最高値は奥多摩・大菩薩の山中であったが、放射能の雲は甲府盆地に入る前に山間部で遮られたのかもしれない。高い山が放射能の壁になる、は以前から言われていた。とは言うものの、奥山の森林に降り積もった放射能はコンクリートやアスファルトに囲まれた市街地とは違い、容易には消えず、長期にわたって残り、汚染の源となる。奥山の森林や水源地帯の汚染はなかなか見えにくい、今後注視していくべきである。

今回の計測の動機の一つは農耕地の汚染は?であった。みどり・山梨の4名の会員の農地を計測したが、0.1 μ Sv以上の値も?と危惧していたほどの高い数値は計測されなかった。だが、汚染されていないと言い切るわけではない。
(みどり・山梨 赤荻雅己 8.27)